

< Kさん企画 >

最近よく見るテレビ番組



最近テレビを見る時間があまりないので、夫や息子が見ているテレビをちょこちょこ覗く感じになってます。5つ挙げられそうにないので、3つだけ。



レスキューミー



夜中にやってる FOX のドラマで、夫がハマって見ている、私はちょいちょい見ながら、なんてサイテーの男達ばかりなんだって思った。ドラマの舞台は 9.11 テロのあとの N.Y.

火事や人命救助という重要な任務に向かいながらも、そこに描かれてる消防士たちの生き方は不器用すぎる。人とのつき合い方は社会的不適応としかいえないし、ましてや女性に対しては、全く話にならないほどひどい！

暴力をふるい、子どもの側には近づけない主人公や、酔った勢いとはいえ友人の彼女を何度でも寝とってしまう男、誘われればどんな女とでも寝てしまえるのに、なかなか人を愛せない男、自分の側には無頓着で、いつも問題を他人のせいにする男、自分を男の中の男だと思うゆえに、ゲイの息子を許せない男、etc.

サイテーなんだけど、人の欲望や不器用さがすごく上手に描かれてるんだな、これが。

そしてよくよく見てると、女だってサイテーなヤツが出てくる (笑)

よりを戻したがってる元亭主を情熱的に誘惑しておいて情事のあとに『あなたは最低な男だけど、セックスだけは最高なのよね』とか言っちゃう女、消防士とつき合いたいがために放火する女、自分を捨てた男への腹いせに女性と付き合い始める女、etc.

美談だけを描いたものとはひと味もふた味も違う、見終わったあとの後味。

このドラマは人のダークサイドというか、弱さとか脆さがうまく表現されている。

つつい夫が見てるのを、キッチンのテーブルでレポート書く手を休めて見てました。

残念なことに先日セカンドシーズンが終わってしまった。サードシーズンの放送を熱望♪



オーラの泉



江原さんブームもさることながら、私は三輪さんがずっと前から気になって。マイノリティーの中で自分の信念を曲げない人っていうイメージと、美しいものへの素晴らしい感性と情熱。他にあんな人いないよね。でも番組全てを見てるとはあまりないかな。そして、江原さんはいつもすごく素敵な数珠を着ける。ので、毎回江原さんに関しては数珠をチェック♪



探偵ナイトスクープ



夫が欠かさず見てるのだけど、最近長男もハマって見ている。で、2人の笑い声を聞くと私も見ずにはいられなくなって、見てます。どーしようもないほど馬鹿げた依頼もあるんだけど、そ

んなんに癒されてたりもする。なんだろうね、笑いの効果って面白いよね。
程良いバランスで、涙を誘うような依頼もあって、そこもまた楽し♪



TBS 関口宏のサンデー・モーニング 日曜朝

下の子が野球をやっているのでスポーツコーナーと一緒に観て、大沢親分と張本の「喝!」「天晴!」などを楽しんでいます。どうでもいいことですが、何故か、名司会者には「宏」という名前が多いのですよ。小川宏、玉置宏、久米宏、関口宏・・・ね?



TBS サンデー・ジャポン 日曜朝

これはサンデー・モーニングの後の番組なので、そのまま流れて観ています。生番組の緊張感があって個性豊かな出演者の生トークが楽しく、司会の爆笑問題の田中のタイムキープぶり、太田の絶妙のコメントに感心させられます。出演者ではデーブ・スペクターのコメントが好きですが、韓国タレントのヘリョンや西川女医も性格の良さが滲み出ていて、最近好感が持てます。

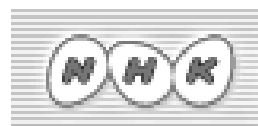


最近特に NHK 一辺倒になっています。いろいろな問題があり、国民の NHK 離れは顕著だとは思いますが、何よりも、上質なのが良い。ドキュメンタリー番組も、ドラマも。中でも教育テレビでは、芸術、語学、教養と実に様々な番組を堪能できます。これを活用しないのはもったいない。まず、NHK 短歌、俳句。多方面で活躍中のゲストにも驚きますが、特に俳句の今年度選者、正木 ゆう子、長谷川 権 両氏の若い感覚が好きです。

夜自分の部屋で「おしゃれ工房」と「趣味悠々」を観て、中国語、フランス語、韓国語はてはアラビア語などを観ている（観ているだけ）娘には NHK の回し者か…とあきれられ、でも夜中にとっても良いお芝居などが観られたり、世界の美術館でなかなか観る事のできない絵画などをじっくり観られたりするしあわせは何物にも変えられません。

大物作家の対談（ずっと昔の太宰治とか）など VTR の宝庫・・・

とうぶん NHK はやめられそうにありません。



プロ野球

毎日毎日、勝っても負けても、負けても負けても、6時になればテレビをつけます。年間140数試合で見れない試合は5試合くらいじゃないかなー。デーゲームで見れないときは再放送見ちゃうし。再放送で見れないときは再々放送みちゃうし。



**プロ野球ニュース**

これは阪神タイガースが勝ったとき限定（^ー^）

10連敗すれば10日は見ない。20連勝したら毎日見るのです。

**ニュース23と報道ステーション**

筑紫キャスターに早く帰ってきてほしい。佐古さんも一緒に23に戻ってきてほしい。

**めざましTV**

毎朝毎朝我が家の朝はめざましテレビ。早耳トレンドナンバーワン（最近ネーミングが変わったけど覚えられない）で流行ものをチェックし、ハイパー占いで今日の運勢に一喜一憂し、軽部さんの芸能コーナーでミスチル情報がないかチェックするんですの。

**CDTV（カウントダウンテレビ）と JAPAN-CD（ジャパンカウントダウン）**

J-POPランキング番組。どんなにくたくたに疲れていようと土曜日深夜はこのふたつの番組をはしごします。こうなるともうテレビを見るのが使命のようです。はは。

**毎日欠かさず見る番組**

ニュース（放送局を問わない。その日一番都合の良い時間のニュースを見る。）

毎週欠かさず見る番組は以下の通りです。

日曜日午前10時 NHK 教育テレビ将棋講座

土曜日午後12時10分 NHK 衛星第二放送囲碁将棋ジャーナル

**内容によって出来るだけ見る番組**

水曜日午後8時 NHK ためしてガッテン

水曜日午後10時 NHK そのとき歴史が動いた

日曜日午後7時半 NHK ダーウィンが来た

**その他よく見る番組**

各種ドキュメンタリー（最近ではNHK衛星放送の毛沢東、中国に関するドキュメントなど）

**ほとんど見ない番組**

各種ドラマ（NHK大河ドラマ、朝ドラも含めて）

先日何十年ぶりかでドラマを見ました、「島根の弁護士」というドラマです。題名に惹かれて見てみようと思った次第。

印象は「テンポが遅いなあ」というもの。将棋のゲームを見ていると、王様を詰めるという最終目的に向かって最小限のステップで到達したい、という気持ちがモロ伝わってくる。ところがドラマはグダグダ、本来の目的以外の挿話があちこちにあって、なんか無駄というか回り道というか、「もっとサッサとできないの!」という気持ちになってくる。もちろん、そういう一見無駄な中に意味があるのでしょが・・・

ニュースは好きだ。ほとんどが単なる好奇心から見る。ニュース番組で物申したいことは、スポーツニュースがあるのなら、囲碁・将棋ニュースがあってもいいのではないかと、言うこと。スポーツ好きの人にとっては、野球でどのチームが勝ったのか、ゴルフで誰が優勝したのか、興味があるだろう。同じように僕は「今日やったはずの王将戦の挑戦者決定戦の結果はどうだったのかなあ、戦形を知りたいなあ。矢倉だったんだらうか角変わりだったんだらうか?」ということに興味があります。こういうことをぜひ報道して欲しいと思っています。



以前は遠距離通勤をしていたこともあって夜のニュース番組、深夜のバラエティー番組、スポーツ番組を見るが多かった。ドラマは続きを見られないこともあり連続ものは避けその都度放送している一話完結型のドラマを見るが多かった。心臓を悪くして入退院を繰返し、仕事に就くと悪化するため今は自宅療養中。

自ずと見る番組も変わってくる。大概是ニュース番組から始まりNHKの連続ドラマ「どんと晴れ」、「ちい散歩」、時代劇の再放送、ニュース番組、「ごきげんよう」、ミステリー・時代劇の再放送、夕方のニュース番組を見て一日の区切りが付き、夜は曜日毎に、トーク・バラエティー、映画、ドキュメンタリーなどを見て夜のニュース番組・スポーツ、バラエティーを見て寝るのが定番になっている。入院していた時は国会放送や都知事や市長の定例会見なども見ていた。全般的にはニュースの他は街ガイドやトークバラエティー、映画が多く別格は笑点。笑点の前身「金曜夜席」で談志が司会をしていた時からの付き合いだ。日曜日の夕方、笑点、ちびまる子、サザエさんは欠かせない番組だ。但し、ちびまる子のテーマ曲だけは近所に聞こえないよう音を小さくしてしまう。



どんと晴

NHKの連続ドラマ小説。15分間のため負担にならない。NHKの連ドラは女性の生き方をテーマに続いてきており主人公の前向きな生き方に共感させられる。演出や表情の出し方が分かりやすく平たく言えばクサイのだがその分馴染みやすい。台詞の上での特徴はキーワードになる台詞を場面場面で繰り返しいろいろな登場人物が口にするので共通の感情を醸し出す効果があり、不覚にも涙することも。衛星放送で土曜日に一週間分まとめて放送するのを見ていたが今は自宅にいるので毎朝見ている。



タモリ倶楽部

金曜日の深夜番組として長期に定着している。最近はおとなの社会科見学的な企画が多い。スタッフの中に鉄っちゃんがいる事から鉄道ネタも多い。

最近、話題の店や街ガイド、都内の坂巡り、新橋立ち飲み居酒屋はしご、会社見学実体験も



が多い。」出演者がなぎら健壺や浅草キッド、眞鍋かおり、K2など癖のある人間が多いのでコメントもユニーク。洋楽の中のフレーズが日本語に聞こえる空耳アワーがレギュラーのコーナーになっている。



探偵ナイトスクープ

関西の金曜日夜 11 時に放送している高視聴率を誇る番組だが関東では人気が無い。関東では金曜日の午前 3 時頃テレビ朝日で再放送していたがゴルフでかつとんだり、時間帯を変更されたりで結局中止になってしまった。内容は視聴者の依頼に基づいて調査・願望を解決する番組。非常に面白いのだが演出が関東人に合わないようだ。事実かつて日本テレビで人気のあった特報王国で扱っていたネタはほとんどナイトスクープで先に取り扱がっている。今はUHF系のTV神奈川やTV千葉で再放送している。家の裏の丘に電波塔が立っているのでアンテナがなくても映るのだが録画が出来ないのが難点。

海外に出ても物おじしないと思われる大阪人のパワーに圧倒される。



田舎に泊まろう

タレントの行きたいシチュエーションの土地をスタッフが用意しその場所から旅が始まる番組。宿泊は一般人の家と交渉してお泊りするのが番組の肝。他人が泊ることにより思わぬ夫婦や家族の絆が見えほろっとする事も。



ごきげんよう

小堺一機が司会するトーク番組。月一金の 13 時放送なので普段は見られない番組。毎日、三組のゲストが出演しサイコロで出たテーマに沿ってトークをするシステム。時にテーマから逸脱することもあるがタレントの思いがけない一面が見られ 30 分とは言え中身が濃い。



ガイアの夜明け

プロジェクトXは過去のヒーローを紹介する番組だったがこちらは最新の政治・経済の話題、海外事情を紹介し関わる人たちのものの考え方未来に目指すものなどを紹介して興味深い番組。役所公司のナビと蟹江敬三のナレーションも良い。



ちい散歩・ぶらり途中下車の旅、アド街ック天国

どれもタウンガイドの番組。「ぶらりー」は街の名店、職人、著名人などに偶然出会ったように演出しているがちい散歩は地井武男の視点で見つけた物、関心を持った店の人たちとの会話が自然で面白い。水曜日は昭和の風景、商品の由来などを特集しているので昭和にはまっている自分にとって見逃せない。アド街ック天国は地域に関するタレントをゲストにレギュラー陣を加えて街のウンチクを語りながら街をナビする番組。





ドキュメント

一人でも見る、見られないときは必ず録画する番組は日曜昼間のCX『ザ・ノンフィクション』、日曜深夜の日テレ『NNNドキュメント'07』。

ザ・ノンフィクション

『ザ・ノンフィクション』は、同じ人を何年もかけて追いかけている。最近お店を閉めてしまった池袋のラーメンやのオヤジさんとか、超芸

術的なものを作って東京に売りに出てくる地方の女の子とか、その後が気になる人たちが沢山いる。アシュリーや飯島夏樹はこの番組で知った。ドキュメントはドラマを超える！？



特番

『ビューティーコロシアム』『ビフォーアフター』『ドリームハウス』あたりは欠かさない。あーだこーだ文句を言いながら見るのが楽しい。数ある大家族ものの中で『石田さんちの大家族』だけは好き。他の大家族ものって不幸な終わり方したり、粗野だったりするけど、石田さんちはいい。特に石田さんちのお父さんは、ちびまる子ちゃんちのヒロシっぽい哀愁があっている。



お笑い芸人

最近のテレビってやたらとお笑い芸人が出る。芸を見せずに雑壇に座り、したり顔でコメントしたり（おお、洒落てしまった）、私生活を暴露することで笑いを取ったり。あの浅さ、耐えられません。芸を磨け、芸を。ラーメンズ見ろっての（結局はそこかいっ）。



太田光

最初は嫌いだったのに「本が好き」というキーワードですっかり好きになった太田光。深夜にやっていた小説家との対談番組は面白かった。乙ーも出たし。最近は『太田総理』と『検索ちゃん』をラジオ感覚でつけてる。『テレビタックル』ではなんだか穏やかになってしまったビートたけし。たけしのあとを継ぐものは太田光だと思う。



ドラマ

今は再々々(?)放送の『相棒』を見てる。何度見ても、話と言えるほど知っていても面白い。



疑問

- ① 午前中のワイドショー、なぜ複数のコメンテーターが必要？
- ② クイズ番組なのにおバカなアイドルたちを数多く出して間違った回答で笑う『ヘキサゴン』。なんで視聴率がいい？所詮、飽きる笑い。



希望

- ① バラエティ要素のないシンプルなクイズ番組が見たい。
- ② ラーメンズや浜省のドキュメント番組なんて見たいじゃない？じゃない？



鑑定団

もっぱら見ているのは、日曜日の昼に流されている再放送。つまりは1年前の季節はずれのものを見ているのですが、時間を感じさせないのは、ものの価値観があまり時間に左右されないからなのかも。お気に入り安河内さんと中島誠之助さん。安河内さんは鑑定しているとき以外は少しはにかんだ表情が面白い。中島誠之助さんは至極もったもな物言いをするのですが、すこし胡散臭いところがすごく良いです。信じられねえって感じ。そういえば最近、バカボンのパパのような顔の西洋骨董の鑑定士が出てきませんねえ。亡くなっちゃたのかなあ。



特番ものまね

何故か物まね番組が大好きです。松任谷由美や中島みゆきをあざとく真似する中島マリが好きです。あまりものまねが上手い人よりも上手く誤魔化す人が好きです。うさおの生活信条と似ているからなのかも知れないなあ。

だからダチョウ倶楽部とか哀川翔のものまねの有吉弘行など、確かにどこか似ている個所があるなあって程度のものが好きなんだよ。



世界ふしぎ発見



家の中であまりチャンネル権の無いうさおの数少ない「観たいぞっ！」って権利が執行できる番組のひとつ。なんとなくトマソン隊の切り口がこの番組に似てきちゃうのも仕方がないかな。(おい、おい、取材力とモノの切下力の差がこんなに歴然としているものを比較するなよ)

同じテーマが結構繰り返されるので、長く観ていると知識が溜まり、その聞き齧りの知識をあたかも自分の知識として話している自分に気がきます。(大丈夫なのか?おれ?)



特番イリュージョン

この間ゼロの番組を見ました。いきなり指輪が現れるシーンはスローモーションで見ましたが、その仕掛けが解りませんでした。ガラスを介してコインやカードをトランスポートさせる技は不可思議です。本当にゼロは超能力を持っていて、それを人に見せたい要求があり、それでマジシャンになったのではと、うさおは推理しています。



釣り番組



土曜日の6時から7時に掛けて、ダイワとリョウビのメーカーがそれぞれ30分ごとの番組を連続して流している。それも同じTV東京のチャンネルでだ。この2社が協同しているのか、競合しているのかは知らないが、それぞれの特色を出して面白いよ。片方が海釣りを特集すると、片方は川釣りを放映するとかですね。釣り番組も激減した現在、もしかするとディレクターが同一人物なのかも。昔、船酔いに強かったうさおは釣りが大好きでした。